

令和5年度 堺市感染症発生動向調査委員会 会議録

開催日時：令和5年12月11日（月）14：00～16：00

場所：堺市衛生研究所別館（堺市保健医療センター内）1階会議室
(堺市堺区甲斐町東3丁2番6号)

出席委員：川上展弘委員、中尾治義委員、八木和郎委員、露口一成委員、
杉本親寿委員、池上雅久委員、藤本美穂委員、柴田仙子委員、
速水真紀委員、西本夕紀委員、（10名）

欠席委員：沖永剛志委員、谷和光委員（2名）

傍聴者：0名

事務局：堺市衛生研究所

　　山本所長、野田次長、三好総括研究員、福田主任研究員、岩崎主任研究員、
　　中村主任研究員、坂口主任研究員

オブザーバー：保健所感染症対策課

　　山中参事、和田係長

議案：

1. 会長・副会長の選出について

会長には中尾委員、副会長は露口委員が選出された。

2. 議題

（1）令和4年感染症発生動向調査事業報告

- ・感染症発生動向調査事業の報告について
- ・主な感染症について
- ・要綱等改正情報について

（2）細菌検査情報について

- ・腸管出血性大腸菌について
- ・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌について
- ・バンコマイシン耐性腸球菌について

（3）ウイルス検査情報について

- ・ウイルス検査（月別の依頼件数及びウイルス検出数、診断名別ウイルス検出数）
について

- ・インフルエンザウイルスの年別検出状況について

（4）トピックス

- ・堺市における新型コロナウイルス感染症について

3. 主な質疑応答、意見等

- ・ 「梅毒の発生状況は増加傾向であり、特に20代女性の届出が多い。」との報告に対する意見

(委員)

インバウンドで海外から持ち込まれる事例が増加している。

コロナ前後での状況の相違は、以前は風俗関係者が多かったが、現在はSNSやマッチングアプリ等の利用により、特に20代（の若者）の報告が非常に増えている。

風俗関係者は定期的にクラミジア等の検査を実施しているが、一般の方は放置されており、感染機会が広がっている。

風俗関係については、従事歴が女性、利用歴が男性で報告の3分の2もしくは半分ぐらいを占めていたが、今は各々3分の1程度になっている。

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌に関する質問

(委員)

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の届出名称の変更により、届出対象となる菌種に変更はないか？

(事務局)

→これまで腸内細菌科として対象であった菌種はそのまま対象となります。

(委員)

カルバペネマーゼ遺伝子が検出されない菌株が多いが、これらのカルバペネム耐性の理由は？

(事務局)

→他のβ-ラクタマーゼの産生による薬剤透過性の亢進や排出ポンプの機能変化により、カルバペネムに耐性を示していると思われます。